

町の活性化と“再生”に向けた各地の取り組み

このコーナーでは電源地域各地の地域振興に向けた話題を取り上げています。今回は福井県おおい町の道の駅のオープンや福島県広野町の産直所の再開、新潟県魚沼市の尾瀬魚沼ルート開発、「ふくしま復興祭」などの話題をお届けします。



道の駅

5月にオープン の駅うみんぴあ大飯が

福井県おおい町

おおい町成海に『道の駅うみんぴあ大飯』が5月30日(木)にオープン。町民にとっては待望の物販・交流施設の誕生だ。

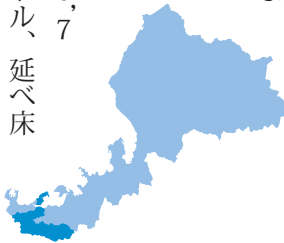
『うみんぴあ大飯』は複合レジャースペースとして、国道27号沿いに整備されてきたもので、アミューズメント施設の『こども家族館』『エルガリアおおい』、リゾートホテルの『ホテルうみんぴあ』、『うみんぴあ大飯マリーナ』などが含まれる。

『道の駅うみんぴあ大飯』は、その『うみんぴあ大飯』の一角にあり、若狭湾の景観が満喫できる『道の駅』となっており、福井県の「電源地域

安心と活力のまちづくり交付金事業」を活用して建設された。

敷地面積約5,740平方メートル、延べ床面積約1,240平方メートルの平屋建ての駅舎内は、目の前に広がる若狭湾からの光が燦々と差し込み、おしゃやれで明るい雰囲気包まれている。

魚介類販売コーナーでは、若狭沖で獲れた新鮮な魚介類を提供し、特産品売場では毎朝収穫した野菜に加



え、米、果実、花卉や、手作りのお菓子やパン、特産品なども売られている。

また、おおい町産の果実・野菜などを使ったジェラート工房、新鮮な魚や野菜を使ったメニューを揃えたファーストフードを味わえるコーナーもある。観光案内所では町の観光案内をはじめ、地域情報などを発信している。

6月1日(土)、2日(日)にはオープニングイベントが開催され約8,000

道の駅うみんぴあ大飯

〒919-2107 福井県大飯郡おおい町成海1-1-2

☎0770-77-4600

【URL】michinoeki-ohi.com

【営業時間】9:00~18:00(7・8月は19:00まで)

【休館日】毎月第1・3月曜日および12月31日・1月1日(7・8月は無休)



買物客で賑わう特産品売場

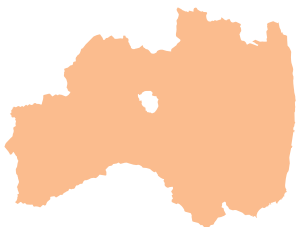
マツダオールスターゲーム2013にあわせて「ふくしま復興祭」を開催

福島県

0人が来場した。この道の駅の開業で、町の観光や特産品などの情報を広く発信し、町の認知度の拡大と地場産業のさらなる発展が期待される。

去る7月21日(日)、22日(月)の2日間

にわたって、いわき市21世紀の森公園で「ふくしま復興祭」が開催された。この催しは公園内の「いわきグリーンスタジアム」で行われた「マツダオールスターゲーム2013第3戦」にあわせた関連イベントとして、日本野球機構が球界全体で東日本大震災の被災地を長期的に支援し盛り上げていこうということで実現した。会場は、「食のオールスターゲーム」ゾーン、「ふくしまの食・



いわきの食」ゾーン、「コミニティ」ゾーン、「子どもスポー



復興祭セレモニー



再開した農産物直売所

大震災以降、閉鎖していた福島県
広野町の二ツ沼にある農産物直売所
が7月27日
(土)に再オ
ープンした。

この日、約
2年4カ月
ぶりの再開
となる直売
所の店頭には、モニタ

農産物直売所、 2年4カ月ぶりに再開

福島県ひろの広野町

リング検査を終
えた広野町産
の新鮮な野菜
が並び、会場は、
町に帰還した住
民で賑った。
町内の有志からなる
広野復興プロジェクト実行委員会も
町内で頑張る農家を応援しようと会
場に駆けつけ、宮崎産地鶏（真空パ
ック）の無料配布や埼玉県三郷市や



「ふくしまの食」・「いわきの食」を楽しむ人たち

いわき市の「ジャンボカジキバーガー」



ム2013第3戦「ゾーンに分かれ、
2日間の来場者数は17万5,000
人を超える催し物となった。
「ふくしまの食・いわきの食」ゾ
ーンでは、楡葉町の「ゆず軟骨」、
ツ体験」ゾ
ーン、「子ども
ふれあい」ゾ
ーン、「マツダオ
ールスターゲー
ム」ゾーン

浪江町の「なみえ焼きそば」
などをはじめとする福島各
地の製品のほか、被災地支
援を行ってきた全国各地の
自治体や団体の産品も出展。
「食のオールスターゲーム」で
は、全国約50種の郷土料理・ご
当地料理コンテストが行われ、
いわき市の「ジャンボカジキバ
ーガー」がグランプリを獲得した。
また、ステージでは「風とフクミラ
イ」と称した中村雅俊さんなどのラ
イブ、プリンセス天功さんやスパリ
ゾートハワイアンズなどのパフォー
マンスが繰り広げられ、食べて、見
て、聴いてといった盛りだくさんの
楽しいイベントとなった。

「食のオールスターゲーム」で
は、全国約50種の郷土料理・ご
当地料理コンテストが行われ、
いわき市の「ジャンボカジキバ
ーガー」がグランプリを獲得した。
また、ステージでは「風とフクミラ
イ」と称した中村雅俊さんなどのラ
イブ、プリンセス天功さんやスパリ
ゾートハワイアンズなどのパフォー
マンスが繰り広げられ、食べて、見
て、聴いてといった盛りだくさんの
楽しいイベントとなった。

官民挙げての尾瀬魚沼ルート開発を 通じた地域活性化

新潟県魚沼市しづおめま

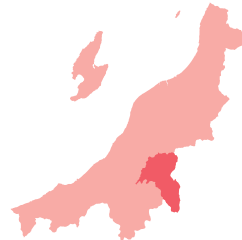
岐阜市から取り寄せた野菜を販売し、
会場を盛り上げた。
広野町では、2011年9月に緊
急避難準備区域が解除されたが、帰

還した住民は2割にとどまってお
り、
この二ツ沼直売所の再開によって、
農業や町の再生につながることを期
待している。

福島・新潟・群馬3県にまたがり
広がる尾瀬は、春から秋まで自然を
楽しむ多くの観光登山客で賑わう。
陸路で入る福島・群馬ルートと異
なり、船で奥只見湖を渡り、尾瀬に入
る通称「尾瀬・魚沼（新潟）ルート」
は、尾瀬に入るまで様々な景色を堪能
できるほか、沿線に多くの温泉が
点在する湯之谷温泉郷を抱える。

活動が活発化するなか
平成19年7月の中越沖地
震が発生するも、同年8
月30日の尾瀬国立公園誕生
の契機もあって成果が出て
きている。

その後、平成21・22年度には国交
省の「建設業と地域の元気回復助成
事業」も実施。平成23年の新潟・福
島豪雨の風評被害対策や平成24年度
もインバウンド（海外からの誘客）
を推進するために魚沼市・魚沼観光
協会とともに「魚沼JED（ジャパ
ン・エンドレス・ディスカバリー）」
を設立。「魚沼から行く尾瀬」を魚
沼市と協力して行うなど、広範囲の
活動を行っている。



秋の紅葉も楽しめる尾瀬定期船

